

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1290300035		
法人名	株式会社ヘルシーサービス		
事業所名	グループホーム ガーデンコート稲毛園生(2階)		
所在地	千葉県千葉市稲毛区園生町815-1		
自己評価作成日	令和6年1月30日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/12/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社アミュレット		
所在地	東京都中央区銀座6-13-9 GIRAC GINZA8階bizcube		
訪問調査日	令和6年3月7日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

お客様が楽しくホームで過ごして頂けるように様々な工夫をしています。コロナの影響で公共の場への外出は難しいのでホーム内で役割を持って頂けることに力を入れています。具体例として、食器拭きや洗濯物量みといった日常的な役割を行って頂き、日常生活動作の継続に繋げています。またブログにも力を入れており、月7~8回の更新を行い、面会制限もある中ご家族様に日々の生活の様子に触れて頂いています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

新型コロナウイルス5類移行を受けて、利用者の活動の幅を広げています。特に令和5年度は地域との交流に力を入れており、近隣小学生との交流や認知症カフェ等の地域のイベントにも参加をしています。また福祉ネイルの方をお呼びして利用者にはハンドマッサージを提供するなど、地域の方との関りが確実に拡充しています。3ヶ月に一度実施している運営推進会議にも地域の関係者の参加が多く、会議を通して地域の情報を収集できることも大きなメリットにつながっています。また、ホーム内においても各ユニット合同行事を開催するなど、利用者の楽しみの拡充に向けた取り組みも前向きに進めています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	各フロア、休憩室に掲示し、常に意識してもらえるよう努めています。	「最高の人生を送りましょう」をホームのスローガンに掲げて全体で共有しています。利用者、職員共に笑顔で過ごせる環境を全体で大切にしてい事を管理者からも呼び掛けて、日々明るい雰囲気を作り出すことを大切にしています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	状況報告、イベント報告を行い、ご意見、ご要望をお伺いしながら、改善に努めています。	新型コロナウイルス5類移行を受けて地域との交流も少しずつ再開しています。令和5年度は近隣小学生との交流や認知症カフェや地域のイベントにも参加をしています。また福祉ネイルの方の受け入れなどもあり地域との交流を充実させています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域住民からの介護相談に応じています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	状況報告、イベント報告を行い、ご意見、ご要望をお伺いしながら、改善に努めています。	運営推進会議には、地域包括支援センター、民生委員、薬局、保育園、小学校校長などの参加を受けて3ヶ月毎実施しています。参加者との意見交換を通して小学校との具体的な交流につながるなど、有意義な会議となっています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	行政の判断が必要な案件は介護保険事業課、日々のケアでの案件はあんしんケアセンターに問合せを行っています。	市の担当課とは運営上相談が必要な際には連絡を取り必要な指示を仰ぐほか、運営指導で直接助言を頂くなど協力関係を築いています。また生活保護受給者の件では区の担当と連絡を取り必要な情報を収集しています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	可能な限り、向精神薬などの薬を減らしているよう努めています。	3ヶ月毎の運営推進会議の中で身体拘束適正化委員会を開き、不適切ケアの発生が無いかについて会議の参加者と確認しています。委員会内容は議事録に残し全職員間で共有しています。また、身体拘束及び虐待防止研修もホーム内で年2回実施しています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	年度研修を通じスタッフの意識維持に努めています。		

グループホームガーデンコート稲毛園生(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	年度研修を行っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	書面を使いながらご説明し、ご理解、ご納得いただけるよう努めています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	現在は書面での対応ですが、運営推進会議を行い各方面からの意見を頂気反映させて行けるよう努めています。	家族からの意向や要望については面会時やケアプランの説明の際に確認し、要望等が出た場合には迅速に対応しています。利用者からの要望等は日常会話から収集し、日々の生活の中で反映できるように努めています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	コミュニケーションを密にとり風通しの良い職場作りを目指しています。	職員からの意見や要望については、管理者との定期面談のほか、職員個々の状況に合わせて面談をして意見や要望のほか不安に感じていることなどを確認しています。法人全体で年に一度従業員満足度調査も実施しています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	定期面談を実施しています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修や個別での助言を行い、技術、知識の向上に努めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	本社研修などで交流しています。		

グループホームガーデンコート稲毛園生(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご利用開始前には、ご本人様、ご家族様と面談をしています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	アセスメントを行い、ご本人、ご家族様のニーズをくみ取りケアプランの作成をしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	様々な相談を受けるとともに、グループホームに適さない状態の方には他事業所やあんしんケアセンターを紹介しています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	介護をする、されるという関係ではなくお互いに感謝の気持ちを持ちながら関係を築いていけるよう努めています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居前に出来る事、出来ない事をご家族様にご理解頂くことが入居後のより良いケアやご家族との信頼関係に繋がると考えています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人の希望に沿っています。	馴染みの人や場所との関係性が継続できるように、友人の来訪を可能とするほか、携帯電話で家族といつでも通話できる環境も大切にしています。家族との外出も許容しており、お正月に一時帰宅するケースもあります。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	身体状況だけでなく、人間関係についても情報共有しケアに繋がっています。		

グループホームガーデンコート稲毛園生(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要とする方には定期的に連絡を取っています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人様の意向を最優先しケアを検討しています。	利用者の思いや意向については日常会話からの収集のほか、ケアプランの作成および更新時に実施するアセスメントにおいて確認しています。抽出した意見や要望、課題等はケアプランに反映し日々の支援に反映させています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	モニタリングシートやサマリーを作成し職員と情報共有をしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の申し送りや連絡ノートでの情報共有をしています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	各方面の意見を取り入れ、ケアプランに反映させています。	アセスメントで抽出した情報、利用者本人、家族、職員の意見を担当者会議で話し合い、総合的な意見を踏まえてケアプランを作成しています。ケアプランの進捗については毎月モニタリングで確認し、6ヶ月毎ケアプランを更新しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	タブレットで記録を行っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族様と密に連絡を取り合い、ニーズにこたえていけるよう努めています。		

グループホームガーデンコート稲毛園生(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	お客様のご要望に応じ、職員が買い物代行しています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	往診医と連携し、適切な医療を受けられるよう支援しています。	提携先のクリニックの定期往診を通して主治医と連携を図っています。往診以外にも24時間連絡が取れる体制を築き緊急時にも迅速な対応を可能としています。歯科についても訪問歯科を受けられる体制を築いています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	往診先の看護師と連携しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	主治医、ソーシャルワーカーと連携し退院後のケアに繋がっています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に出来る事、出来ない事の説明を行い出来る限りご要望に応えられるよう、往診医と連携していきます。	重度化した場合や終末期の対応についてはホームでできること、できないことを利用契約の際に説明しています。現状看取り支援は行っていませんが、重度化によりホームでの生活が難しくなった際には、今後の方針を家族も交えて検討しています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	フローチャート、マニュアルを作成し掲示しています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を年度計画で行っています。定期的に消防署や外部機関に点検を行ってもらっています。	災害に備えて10月に日中の火災を想定した訓練を実施したほか、2月に夜間を想定した訓練を実施しています。備蓄品についてもホーム内に保管しています。策定が義務付けられた事業継続計画(BCP)も災害時と感染症拡大に備えた計画を策定しています。	作成を終えた事業継続計画(BCP)について、実際にBCPを発動させた訓練などを通して職員の理解や意識をより深めていけるとよいと思います。

グループホームガーデンコート稲毛園生(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	研修を通じお客様の尊厳を守ることを意識の共有に努めています。	利用者に対して不適切な対応にならないように、オンデマンド研修を通して接遇やプライバシー保護についての研修を行っています。日常的にも言動や行動等を振り返る機会を設け、適切な対応が図れるように努めています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者本位の介護を目指しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご自身のペースで穏やかに過ごして頂けるよう支援していく事に努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2ヶ月に1回、訪問美容を利用しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	生活行為全般に参加して頂けるよう心掛けています。	日々の食事については湯煎で温める食材を使用しています。毎月行事食なども取り入れて、食事の楽しみにつなげる取り組みも取り入れています。食事形態についても利用者の状態に合わせてペースト食まで対応し誤嚥が無いように努めています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	定期の提供以外にも要望に合わせて提供しています。水分量の管理も行っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケア介助、ご希望の方は訪問歯科を利用しています。		

グループホームガーデンコート稲毛園生(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄記録から個々の排泄パターンを把握し、適切なケアに繋がられるよう努めています。	排泄については定時の声かけや誘導により、トイレで排泄できるように支援しています。定時に声をかけることができおり、排泄の失敗などを防ぐことができます。排泄状況はタブレット端末から専用の介護ソフトへ入力しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄感覚の記録を行い体操、散歩など体を動かすことに力を入れ、定期的に乳酸菌飲料も提供しています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	スケジュールはありますが、状況によっては変更し対応しています。	入浴については週に2回入浴できるように支援しています。入浴中は職員が介助について事故が起きないように努めています。利用者の状態により浴槽に浸かることが難しい場合には家族にも説明してシャワー浴対応としています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ここの入眠状況を把握し、適切な睡眠をとれるよう努めています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤師が管理しています。服薬事故防止の為にマニュアルを作成し、私用しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常生活の作業を職員と共に行えるよう支援しています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外気浴の実施、歩行可能な方は近隣への散歩も行っています。	新型コロナウイルス5類移行を受けて、戸外に出かけられるような取り組みも少しずつ再開しています。天候の良い日にはホーム周辺の散歩に出かけたり、近隣の薬局やスーパーまで利用者と一緒に買い物する機会も増えています。家族との外出も許容しており、戸外に出かけられる機会も増えています。	

グループホームガーデンコート稲毛園生(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	管理者が管理し、ご要望に合わせて買いも代行しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご希望に沿っています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節を感じる装飾を行っています。	季節に合わせた装飾品を掲示するなど季節感が感じられるように各ユニットで工夫しています。日々の掃除の徹底や感染対策として手すりや床、リビングのテーブルなどもこまめに消毒するほか換気を徹底するなど基本的な対策を継続しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	席の配置を考えたり、ソファを設置し気の合う方同士で過ごせる空間づくりを行っています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご入居時に、ご家族様には可能な限りなじみの物をお持ちいただくようお願いしています。	居室の掃除も定期的に行い清潔保持に努めるほか、居室内のレイアウトについても利用者、家族の意向を大切にしています。馴染み品の持ち込みを可能として居心地よく過ごせるように配慮しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホーム内はバリアフリーで残存希望を活かし自立した生活を送れるようになっています。		